

プレスリリース

～アラスカの原野で出会った世界一美しい光景～

松本紀生写真集

『原野行』

Light of the Wilderness



《お問い合わせ》

株式会社クレヴィス 担当：江水（えみず）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-1-11

TEL: 03-6427-2806/FAX: 03-6427-2807

Mail: emizu@crevis.jp

～新作写真集のご案内～

謹啓、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、写真家・松本紀生氏の写真集『原野行』を刊行いたしました。

アラスカを初めておとずれてから 20 年。瑞々しい感性が極北の原野で出会った、世界一美しい光景を一望にする写真集です。著者にとって、初の写真集ともなります。

つきましては、プレスリリースをお送り申し上げますので、何卒ご紹介を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

《写真集概要》

- タイトル：『原野行』 Light of the Wilderness
- サイズ：A4・横（縦 210mm×横 297mm） 並製本
- ページ数：104 ページ オールカラー
- 価格：本体価格：2500 円+税
- 作品点数：85 点
- エッセイ：4 編 「無人島の夏」、「原野行」、「オーロラを追いかけて」、「春」
- I S B N : 978-4-904845-35-6

全国書店にてお求め頂けます。

《写真集内容》

一番きれいな写真を撮りたかった。

星野道夫氏の作品に触発され、はじめてアラスカを訪れてから 20 年。極北の原野で瑞々しい感性が出会った世界一美しい光景。豊潤な苔に覆われた南東アラスカの温帯雨林、その森にこだまするザトウクジラの息吹、ダイナミックに季節移動を繰り返すカリブーたちの群れ。そして北米大陸最高峰・マッキンリー山上空を覆う奇跡のオーロラ。効率を追求するのではなく、“生きた証”を求め、自分の足で一步一步踏みしめながら撮影を続ける。

アラスカの美しい生命や風景を求め、原野に行く。旅はまだこれからだ。

《松本紀生（まつもとのりお）略歴》

1972年、愛媛県松山市生まれ。故星野道夫氏の作品に触発され写真家を志す。立命館大学を中退し、アラスカ大学へ編入。渡米後、写真とキャンプスキルを独学で習得。卒業後は毎年、一年の約半分をアラスカで過ごし、自然の撮影に専念する。国内の媒体のみならず、「National Geographic Adventure」「Audubon」「Climbing」など、海外の著名誌にも作品を発表。日本滞在中はスライドショー「アラスカ・フォトライブ」を全国の学校、団体、病院などで行っている。著書に「オーロラの向こうに」「アラスカ無人島だより」（ともに教育出版）がある。さだまさしと寄席をこよなく愛する。

ホームページ：www.matsumotonorio.com



《関連情報》

クレヴィス HP

・松本紀生写真集『原野行』発売のお知らせ

<http://crevis.co.jp/topics/index.php?no=31>

・写真集見開き画像

http://www.crevis.co.jp/publishing/publishing_036.html



クロクマの子ども・トンガス国有林



ザトウクジラの尾びれ・フレデリック水道



残照に照らされたザトウクジラのブリーチング・フレデリック水道



グリズリー・カトマイ国立公園



残照を浴びるハンター山・アラスカ山脈



月光に照らされたマッキンリー山と氷河・アラスカ山脈



オーロラとテント・アラスカ山脈



キタキツネ・北極圏野生生物保護区